

令和6年6月27日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機 原子炉補助建屋における消火設備の動作について (セメント固化装置混練機の不具合)

通常運転中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）の原子炉補助建屋（管理区域内）において、本日、10時28分、セメント固化装置^{※1}エリアに設置する火災感知器が作動したことから、消防署へ連絡しました。

また、当該エリアにて、ハロン消火設備が動作していることを確認しました。

当該エリアを確認したところ、作動した火災感知器と同じエリアに設置されているセメント固化装置混練機^{※2}において、モータと攪拌機を連結しているベルト4本のうち、1本が切れていることを確認しました。

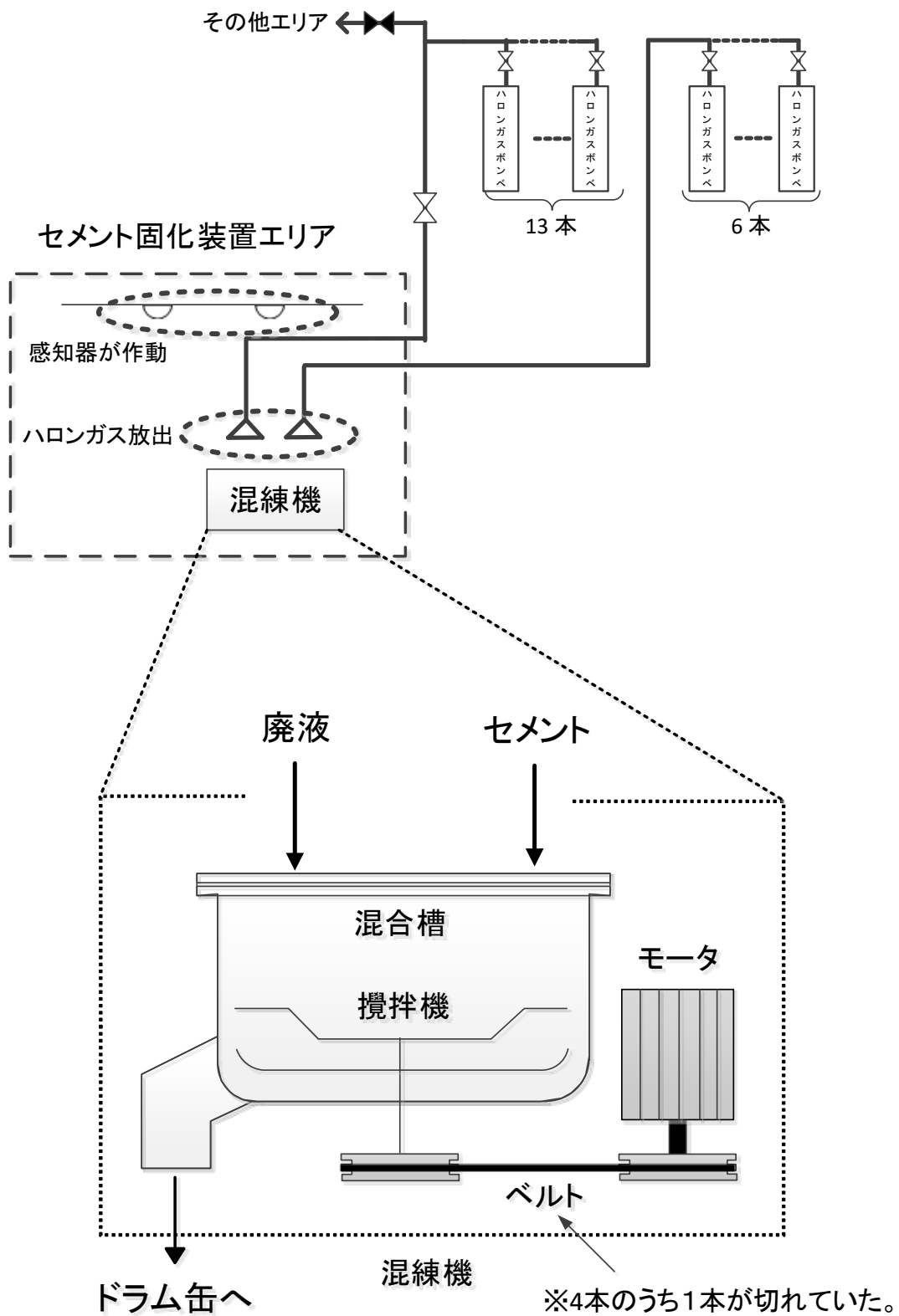
消防署による調査の結果、15時55分、火災でないことが確認されました。

なお、本事象に伴う負傷者はおらず、プラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

今後、詳細を調査します。

※1 洗濯排水や機器点検時の排水等、プラントの管理区域内で発生する液体廃棄物を濃縮したものを、セメントと混合し、ドラム缶に詰め、固化する装置。

※2 濃縮された液体廃棄物（廃液）とセメントを混ぜ合わせるための装置。



伊方発電所3号機セメント固化装置混練機 概略図

以上